

いいとこ小浜づくり  
協働推進事業

「いいとこ小浜づくり」とは？  
市民の自由な発想を生かしたまちづくり活動への補助事業です。

キャンドルナイトで省エネ

省エネや環境問題についての意識を高め、共有する場を作るため、キャンドルナイトや映画上映会などを開催。

提案者 ecoeco 実行委員会  
助成額 18万円

まち歩き案内看板作成事業

小浜地区の中西部地域を訪れる観光客のおもてなしのため、旧町名看板を再利用し、観光案内看板を作成。

提案者 御食国若狭倶楽部  
助成額 45万円

平成 25 年度  
ふるさと納税

ふるさと納税は、5千円からになります。1万円以上の寄付をされた人には、小浜の特産品を進呈します

- ※申出書は企画課窓口または市公式ホームページにあります
- ②企画課から送付する振込用紙で寄付金を振り込む
- ※県のふるさと納税の振込用紙でも市への寄付ができます
- ③振り込み後に送付する寄付金受領書を保管し、確定申告時に減税を受ける
- ※減税額には上限があります

小浜を“いいとこ、にしたいんです”

市では、ふるさと納税を活用して、市民協働によるまちづくりを進めるため、平成 21 年度から「いいとこ小浜づくり事業」を実施しています。本年度は 9 件の応募があり、6 件を採択しました。

お初戦国浪漫フェア

大河ドラマ「江」で盛り上がった小浜の認知度の向上・定着を図るため、常高寺を舞台にイベントを開催。

提案者 若狭一領具足武者の会  
助成額 37万8千円

旭座文化ホール事業

県内唯一の芝居小屋である旭座の魅力を感じてもらうため、ジャズナイトや新生劇場復活祭などを開催。

提案者 旭座再生の会  
助成額 45万円

おばまいいとこめぐり

郷土の文化財などを深く知る場を提供するため、観光バスによる見学会の開催およびパンフレットの作成。

提案者 小浜市郷土研究会  
助成額 17万5千円

ステップアップ!ミチフリマーケット

道の駅の賑わいと魅力づくりを図るため、フリーマーケットに加えて、体験イベントの開催や名物商品を開発。

提案者 ミチフリマーケット実行委員会  
助成額 27万7千円

ふるさと納税へのご協力をお願いします

ふるさと納税は、ふるさとへの寄付です。昨年度は、38人から寄付をいただき、「いいとこ小浜づくり協働推進事業」などに利用しています。

里帰りした親戚や小浜を愛する人に、ふるさと納税(5千円から)の呼びかけをお願いします。

【ふるさと納税の手順】

- ①申出書を企画課へ提出する

市民協働 BOX Vol.21  
I ♥ 西津

みんなが「やうち」と呼ばれるまちへ



化粧をほどこされた地蔵(上)、鐘や太鼓を鳴らす子どもたち(下)

お互いに助け合う心を表す「やうち」を合言葉に、自然環境や歴史文化を生かしたまちづくりを進める西津地区。西津やうちのまちづくり委員会を中心に活動をしています。

みんなで元気に米づくり  
世代間交流事業



田植え枠を使って昔ながらの米づくり

公民館の地域子ども教室では、地元の児童に食の大切さを学んでもらおうと、まちづくり委員会と連携して、「米づくり田植え体験」を企画。5月23日に、西津小学校の5年生の児童30人が参加して、手で苗を植える昔ながらのやり方で田植えを行いました。委員会では、住民による地域ボランティア登録も行っており、登録した人は、田植え体験をはじめ、まちづくり事業に積極的に参加をしています。

宮川 正行さん  
(66歳・板屋町)



西津やうちのまちづくり委員会委員長として、地域の特色を生かしたまちづくりを積極的に推進

西津は漁業と簀を産業の中心として栄えてきました。地域の大切な伝統行事である地蔵盆をさらに盛り上げる企画を実施して、住民同士の連帯感を生み出すとともに、観光誘客にもつながり、昔のにぎわいを取り戻したいです。

NEWS

登山道の標識整備に取り組んでいます



小浜山の会では、小浜の山々を登山客に楽しんでもらうために、市の夢づくり市民活動支援事業を受けて、多田ヶ岳や後瀬山の登山道の標識を整備しています。市民の皆さんも気軽に登山や森林浴を楽しんでください。



看板を修理する委員会のメンバー

江戸時代に身を呈して幼子を守った「網女」を知ってもらおうと、まちづくり委員会では、ゆかりの場所「網女の道」に設置されている案内看板や屋根を修理するなど整備を進めています。地域住民で作る網女顕彰会でも、毎年7月に顕彰祭を行い、偉人の生き方を伝えていきます。

偉人の生き方を伝えるために  
地域活性化支援事業